

町の人口（6月末）

・総人口	15,923人
男	7,640人
女	8,283人
・世帯数	3,956世帯
・転入22人・転出30人	
・出生19人・死亡11人	

町の花・ツツジ



（鴻ノ巣グラウンド）

しっかり食べて ハッスルプレーだ！！

6月28日、鴻ノ巣グラウンドでは、「第9回スポーツ少年団軟式野球交流大会」が開かれました。

この日参加したのは、町内の少年野球6チームと父兄ら約200人。

親睦第一の同大会。交流試合のあい間の昼食時には、お田さん達が作ってくれた、特大のおにぎりも登場。「しっかり食べて、ハッスルプレーしよう」と、チビっ子選手の食欲旺盛ぶりに、父兄らは終始和やかな表情を見せていました。

昭和62年7月号

見た 波佐見焼

陶磁器関連事業所は 592

工業統計調査

この工業統計調査は、国の指定統計調査として、通商産業省が毎年実施しているものです。

本町では、昨年は24人の方々に調査を依頼、製造業を営む各事業所の経営組織、給与額、原材料使用額、製造出荷額などの調査・収集をお願いしました。

本町の基幹産業である波佐見焼。創業以来約四百年の歴史と伝統を誇り、今日まで全国有数のやきもの産地として栄え、町民の大半が波佐見焼と何らかの形で結びついています。

今月は、昨年十二月三十一日現在で実施された工業統計調査の結果がこのほどまとまりましたので、統計から見た町の窯業事情についてスポットをあててみました。

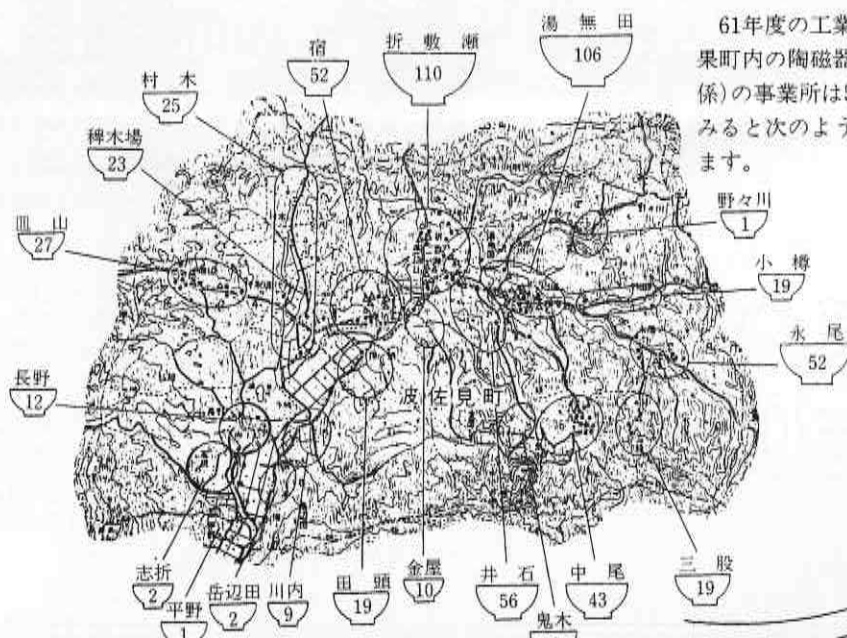
六十一年度の調査結果の主なポイントを上げてみると、まず、全事業所数では全体で六四三、このうち、メーカー（窯元）九七、生地四一一、その他、絵付四二、陶土八、石膏型一五、木箱九など、陶磁器関連の事業所は五九二。

この数字から見ても、本町の生産形態の特徴は、窯元（メーカー）を中心とした、分業体制であり、特に、生地関係事業所の多いのは、一般和飲食器を中心に生産を続けている本町「波佐見焼」の特色といえましょう。

なお、この工業統計調査の対象ではない陶磁器卸・小売業の事業所は七九で、これを

全出荷額 二百二十三億円

陶磁器関連事業所分布図



61年度の工業統計調査の結果町内の陶磁器関連（製造関係）の事業所は592。地域別にみると次のような分布となります。

全工業の業種別内訳

61年工業統計調査

業種	区分	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額(万円)
陶磁器製和飲食器		90	2,672	1,398,490
陶磁器製置物		7	35	13,122
その他の陶磁器		411	1,227	294,240
陶 土		8	26	18,010
陶磁器 絵付		42	168	50,170
石 膏 型		15	153	62,641
土びんのつる		6	22	11,867
木 箱		9	116	91,913
ダンボール箱		3	109	79,532
製材		6	32	31,142
鉄骨・機械		6	30	24,783
博多人形		17	45	11,384
食料品		9	73	84,965
その他		14	196	60,396
計		643	4,904	2,232,655

統計から



合わせると本町の陶磁器関連の事業所数は全体で六七一となります。

次に従業者数では、全体で四、九〇四人、このうちメーカーが二、七〇七人、生地一、二二七人、その他五九六人となっています。なお、この工業統計調査の対象ではない陶磁器卸・小売業関係の従業者を合わせると全体で五、四六二人が波佐見焼を直接支えていることとなります。

陶磁器関係の全従業者のうち、男女別では、男性二、三七五人、女性三、〇八七人と、全体の六割近くが女性で、働く婦人の多いことも本町の特色であります。

なお、町外から本町に働きに来ている人は、約一、六三〇人。地域別では、佐世保市四五五人、川棚三六五人、佐賀県武雄市二一八人、塩田町一四八人、嬉野町一三一人、東彼杵町一三三人の順となっています。

出荷額を見てみると、全体で約二百二十三億二千万円でメーカー(窯元)が全体の六割以上の約百四十一億を占めています。

しかしながら、事業所数、従業者数、出荷額とそれぞれ年次的に見てみると、いずれ

全工業に占める陶磁器関連産業の状況

(各年工業統計調査)

区分	年次	40	45	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61
陶磁器関係	全事業所数	205	410	601	615	617	640	651	661	661	658	650	652	653	643
	メーカー	44	40	68	70	74	77	81	86	90	87	87	92	94	97
	生地	120	253	396	416	423	441	443	447	439	435	425	427	424	411
	関連	20	49	51	55	61	68	72	73	79	78	80	77	84	84
計	184	342	515	541	558	586	596	606	608	600	592	596	602	592	
全従業者数	全従業者数	3,101	4,055	5,298	5,489	5,617	5,906	5,846	5,755	5,493	5,436	5,313	5,173	5,046	4,904
	メーカー	2,274	2,379	3,222	3,319	3,360	3,484	3,451	3,458	3,249	3,093	2,981	2,866	2,792	2,707
	生地	524	899	1,202	1,297	1,364	1,483	1,425	1,370	1,321	1,404	1,380	1,374	1,314	1,237
	関連	130	362	365	500	523	591	615	599	618	618	617	597	577	596
計	2,928	3,640	4,789	5,116	5,247	5,558	5,491	5,427	5,188	5,115	4,978	4,837	4,683	4,530	
全出荷額	全出荷額	168,870	429,512	1,362,970	1,641,241	1,819,954	2,067,189	2,272,669	2,480,744	2,382,579	2,440,765	2,434,939	2,377,716	2,326,009	2,232,655
	メーカー	121,041	262,587	895,508	1,091,666	1,180,335	1,366,017	1,491,750	1,628,535	1,559,287	1,562,496	1,531,767	1,519,328	1,467,595	1,411,612
	生地	14,041	52,271	160,640	216,338	245,712	282,809	315,561	334,458	299,303	351,123	341,606	336,993	328,477	294,240
	関連	7,944	46,419	114,338	175,411	211,776	250,898	293,782	335,479	333,439	332,998	351,782	330,107	321,303	314,933
計	143,026	361,277	1,170,486	1,483,415	1,637,823	1,899,724	2,101,093	2,298,472	2,192,029	2,246,617	2,225,155	2,186,428	2,117,375	2,020,785	

※メーカー……和飲食器、置物(窯元)
 生地……陶磁器半製品、その他の陶磁器(ハマ、サヤ)
 関連……陶土、絵付、石膏型、土びんのつる、木箱、紙箱、釉薬、顔料

もここ四一五年は、下降線を示しており、依然として本町窯業界は、極めて厳しい状況にあるといえます。

生涯教育推進 指定町に

62・63年度

写真の発明から実用化まで百十二年、ラジオは三十五年、テレビは十二年、太陽電池は二年というすさまじい速さで社会構造が変化しています。

私達は、学校を卒業してからも必要に応じていろいろな学習をしながら生活していますが、このような時代の流れに対応し、より豊かな生涯をおくる事ができるように、自分の意志で学習をすすめなければならぬ時代になりました。

このような学習を生涯学習とよんでいます。

この学習をだれもが取りくみやすく学習効果があるように総合的に整備、充実するのが、生涯教育です。

本町では、今年から推進町として県の指定を受け、生涯教育の体制づくりと学習体系づくりに取り組んでいます。誰もが住みよい地域に暮らしたいと願っています。

「心ふれあう地域」―地域連帯感のある他人に奉仕する心の生きている地域や「生きがいのある人生がおくれる地

域」―仕事でも趣味でも、みんなが「生きる楽しさ」を持っている地域。

そして、「子どもに夢と誇りを持たせる地域」―子どもたちが郷土を誇りとできる地域や「豊かで活力のある地域」―心の豊かさはもちろん、みんなが仕事について工夫と努力を重ねる働きがいのある地域です。

学びあう

社会づくりを!!

人生と豊かな地域づくりの糸口になるのが、生涯学習なのです。

生涯学習に参加することで、学習者自身が心豊かになるとともに、住みよい地域がつけられていくのです。

学校のように学習の枠組みはありません。今、自分に関心のある事柄を、自分ひとりで、またみんなと一緒に実行していくこと

が肝心です。

開放的でつきあいの豊かなそして、実り多い人生があなを待っています。

「本町の具体的な取り組み」

- 一、学習機会の拡充・提供。
- 町内の関係機関や団体及び民間組織が実施している教育的諸事業を生涯教育の視点から有機的に連携し、整備・充実する。(町及び機関団体への事業調査の実施)
- 二、学習内容・方法の改善普及。

地域の实情に即した学習課題や町民の学習要求に応じた学習内容・方法の改善をはかる。(町民への学習ニーズ調査の実施)

- 三、教育機能の整備・充実
- 教育機能の整備・改善・連携を進め、町民の学習要求に応える体制づくりと地域の特性や学習活動に応じた施設確保・整備をすすめる。生涯学習の機能を発揮した学習活動を促進する。(自治公民館活動の推進等)

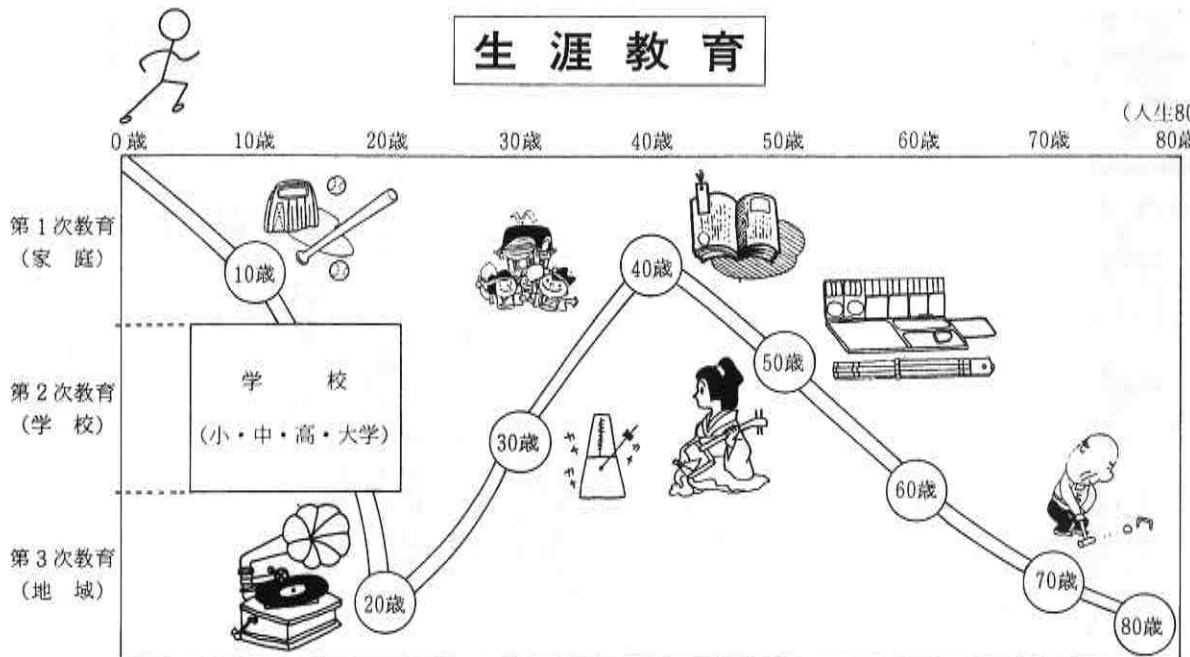
また、あらゆる領域から人材を活用し指導体制を整備する。

四、推進体制の整備

教育行政及び一般行政さらに民間組織や団体との有機的な連携をはかり、総合的な推進体制を整備する。

生涯教育

(人生80年)



「あいさつ」してますか？

青少年健全育成会議

青少年健全育成会議では、六月二十日にあいさつ運動を実施しました。

毎月20日を特別実践日と定め、「あいさつを地域の中で実践展開しよう。」と交通安全母の会の協力を得て実施しました。

母の会の登校時における交通指導とあわせ、「あいさつを最近の子どもは、「あいさつが悪い。」とか、大人は「あいさつをしなさい」というけれども、大人はぜんぜんしてない。」との声が聞え、同会議では、「家でも、街でも、職場でも気軽にかわそ。」と呼びかけています。



小佐々会長(左)から、児玉町長にキーが手渡されました。

鴻ノ巣グラウンド 整備用トラックを寄贈

波佐見ライオンズ

波佐見ライオンズクラブ(小佐々富夫会長)は、このほど鴻ノ巣グラウンドの整備用として、軽トラック1台を町に寄贈されました。

このトラックは、鉄骨製整備板を後部に結びつけて、ゆっくり走り回る、グラウンド整備専用車。

整備時間がグーンと短縮されるばかりか、除草にも一役買いそう。

快適なグラウンド状態でプレーできるよう、今後各利用者にご協力をお願いするとともに、ご寄贈いただいたライオンズの皆様方に心から厚くお礼申し上げます。



盆踊りは老若男女が楽しめるレジャーとしてトツプ・クラスのものではないでしょうか。本来、盆踊りはお盆に精霊を迎える宗教行事ですが、最近はおもつと広く夏の行事として楽しまれています。もつとも、盆踊りは仏教渡来以前から民俗芸能として各地で行われていたという説もあります。

盆踊り

盆踊りの中でも有名なのが四国の阿波踊りです。これには全国から参加者が集まって来ますし、テレビでも紹介されます。

好成績ですが、夜間などには、つい怠る人がいるようです。

こうした全国版の観光行事になった盆踊りもありますが、各地それぞれの盆踊りも最近ますます盛んです。企業が月遅れのお盆(八月十三日〜十五日)を中心に集中的に夏期休暇を設けるようになったことも一因のようです。この時期、都会に就職した人たちが帰郷

し、盆踊りが旧交を温める場となっているのです。一方、都会の団地がニュータウンの盆踊りも各地で行われるようになりました。故郷のない都会の二世、三世が増えるにつれて、こうした行事がますます喜ばれるようになるでしょう。ところで、車を利用して帰省することの多い八月は「シートベルト着用推進月間」です。シートベルトの着用率は一般道路でも運転者九六・四%、助手席同乗者九三・三%(六十二年四月調査)と



みんな
のひろば



◀楽しい パーティー 食器を

—県窯試が試作品展—

県窯業試験場デザイン科職員による作品展が6月9・10日の両日、同試験場で開かれました。昨年に続き2回目。今回のテーマは「いきいき・ライトパーティー」。山下行男デザイン科長ら4人のスタッフが「SAKE」、「子供」、「手巻きすし」、「ワイン」の4つのサブテーマに沿って、それぞれ試作品づくりに取り組んだもの。会場には、コーヒーカップ、ケーキ皿、徳利盛皿、しゃもじ、ワインカップなど20数種類・約200百点の力作を展示。日常的で、楽しいパーティーにふさわしい食器をと、スタッフの意欲が感じられる作品ばかり。見学を訪れた人たちは、盛んに各作品の技法や特徴などについてそれぞれ質問する光景が見られました。

中央小六年が田植え実習

中央小学校(岩本菊美校長)の六年生男女百十四人は、六月十九日、校外学習の一環として田植え実習を行いました。

同校の校外での田植え実習は初めて。井石郷の早川政吉さんが、「米づくりを体験し、子どもたちに少しでも収穫の喜びを味わってもらえれば」と上井石地区にある田んぼ四アールを提供。

この日は、あいにく小雨まじりの天気でしたが、元

気いっぱいの児童ばかり。早川さんや東彼農協上波佐

見支所の音辻菅農指導員らの指導で、泥んこになりながら無事植え付けを終わりました。

秋の収穫祭にはもちつき大会も計画しているとのこと。豊作を期待したいと思います。



◀新1年生給食センターを訪問

「給食はどのようにできているのかな」——学校給食センターには、毎年各小学校の1年生の子どもたちが見学を訪れています。

調理場をじかに見学し、給食の仕組みを学び、センターで働く人たちとふれあうことにより、給食への感謝の心を養おうと社会科の授業で実施されているものです。

初めて見る大きな釜や冷凍冷蔵庫、たくさんの食材料。手際よく作業するお姉さんたち。

中尾幸子栄養士のやさしい説明に耳を傾けながら、感嘆の声が上がります。

「残飯の量はどのくらい?、どこに捨てるの」などの質問も飛び出し、食事の大切さを肌で学び取っていました。



◀初めての保育体験

波佐見中学校では、校外学習として初めて保育体験を取り入れ、6月25日、3年5組と6組の女子46人が「とどろき保育園」（松岡和子園長）の園児77人と一緒に楽しい時間を過ごしました。

初めのうちは園児の周りを取り囲むだけの女生徒も、次第に慣れて抱き上げたり、お馬になったり、紙で遊んだりいつのまにか母親気分。

初めての保育体験に「とても可愛かった、また来たい」と女生徒の感想。

帰りには「お姉ちゃんバイバイ」と園児たちの声が響きわたっていました。



▶宿二年ぶり優勝

——第10回町婦人ソフト
ボール大会——

第10回町婦人ソフトボール大会が七月五日、鴻ノ巣グラウンドで開かれ、宿チームが二年ぶりに優勝を飾りました。

今回は十七チームが出場。日ごろ家事に追われるママさんたちも、この日ばかりはソフトテ。家族らの盛んな声援を背にハッスルプレーを展開。ママさんパワーの心意気を示しました。

主な結果は次のとおり

優勝＝宿

準優勝＝血山

三位＝甲長野

◀立井清人さんの作陶展

先の西日本陶芸美術展で大賞（内閣総理大臣賞）を受賞した、立井清人さん（稗木場郷）の作陶展が、6月5日から12日まで、親和銀行波佐見支店ロビーで開かれました。

59年には県展で西望平和賞、西部工芸展で金賞を受賞するなど、数々の輝かしい実績を持つ立井さん。

今回展示されたのは「彩土大鉢草花」「練上壺幽玄」など17点。同店を訪れた人たちは、花びん、鉢、つぼなど見事な作品に見とれていました。



みんなのスポーツ

波中活躍

ソフトボールなど

六種目制覇

郡中体連



第四十回郡中学校体育（球技・格技）大会が六月二十四日、郡内各中学校など六会場に分かれ開催されました。この日競技されたのは、バレー、テニス、剣道など男女十四種目。各選手は、練習の成果を発揮しようと終始熱の入ったプレーを展開、その結果、波佐見中学校は、ソフトボールなど六種目に優勝。七月から八月にかけて開かれる県大会に出場することになりました。

主な結果は次のとおりです。
 優勝＝バスケット女、軟式庭球（女）、卓球（男）、ソフトボール（女）、サッカー、柔道
 個人優勝＝軟式庭球（女）今田浦山、卓球（男）樋口、剣道（女二年）滝本、柔道（軽量）三岳ゆ、（中量）三岳お、（軽重量）赫多

少林寺拳法

波佐見、大活躍

第10回県大会

日本少林寺拳法第十回長崎県大会が、六月七日西彼・長与町で開かれ、本町から出場した少林寺拳法波佐見チームは、年少四年以下の部で最優秀賞として二人が選ばれるなど、輝かしい成績をおさめました。

＜主な結果＞ 敬称略

◎年少四年以下の部

最優秀賞 北村良太（折）

松尾潤兵（井）



◎年少五・六年の部
 優秀賞 瀬井和文（折）
 高坂勇次（宿）

◎親子演武の部
 優秀賞 松尾讓二、匡悟（折）

◎一般の部
 優秀賞 川内真理（井）
 山口次郎（宿）

東京混声

合唱団演奏会

＝波佐見公演＝

◇期日＝九月二十日（日）

午後二時から

◇場所＝波佐見勤労者

体育センター

◇主催＝県教育委員会、

波佐見町、町文化協会

など

◇入場料

一般 一、二〇〇円

高校生 五〇〇円

小・中学生 三〇〇円

◇入場券お求め先

町公民館、役場、改善

センター、陶芸の館



スポーツお知らせ

◇第3回子供水泳大会

▶期日 8月2日

（午後1時30分から）

▶場所 中央小プール

▶参加申込 7月25日（出）
 正午まで（町公民館へ）

▶参加資格 小学3年から6
 年までの男女

◇少年親善スポーツ大会

▶期日 8月2日（日）

▶競技種目

ソフトボール、バレー

▶場所

○ソフト 鴻ノ巣グラウンド

○バレー 勤労者体育センター
 中学校体育館

▶参加申込 7月28日まで
 （町公民館へ）

◇各種教室開校

町体育協会では、弓道、テニス、卓球の各教室を次により開催します。

日頃スポーツに親しむ機会の少ない方々も是非参加していただき、気持ちいい汗をかいてください。

いずれも参加料は1,000円となっています。

▶弓道

○期間 8月5日から10月7日
 まで、毎週水曜日の10日間

○期間 午後7時30分から9時30分まで

○場所 甲辰園グラウンド

▶軟式庭球

○期間 8月21日から10月4日
 まで、毎週日曜日の10日間

○時間 午前7時30分から9時30分まで

○場所 中学校庭球コート

▶卓球

○期間 8月5日から10月7日
 まで、毎週水曜日の10日間

○時間 午後7時30分から9時30分まで

○場所 勤労者体育センター

▶お申込みは7月31日まで町公民館内・町体育協会事務局まで（☎85-2034番）



乳幼児期にみられる

整形外科的疾患

東彼医師会 八並 信(志折郷)

股を開く法が推奨され、より一層予防効果が上がりましたが、今日では、殆んど股関節脱臼がみられなくなりました。たとえ、この診断を受けても専門医の治療を受けると以前のようになり固定することなく殆んど完治いたします。

二、筋性斜頸

生後二週間ほどで、赤ちゃんなは一方のみに頭を傾け、顔はその反対の方向を向けることに、より気づかれます。

原因は不明とされていますが赤ちゃんの側の頭の筋肉にしこりが出来て、その筋肉が短縮するために起こる変形です。

現在の治療法は、頭の両側より一箇位の枕をあてて顔をまっすぐに向かせて寝せておくことと、顔面の向いている反対側から、テレビ、会話などの音の刺激や光線の刺激を与えることが奨められています。

三、先天性内反足

これは、生下時に足が内側に曲り、しかも、つま先立ちの状態の変形をしています。素人でも一見して異常と気づきます。この治療法は、生後すぐよりギプスによる矯正が適切とされ、一〜二週間毎にギプスを巻きかえます。

ある程度矯正が出来た後は、装具や靴の装着により変形を予防します。

その他、脳性小児麻痺、分娩麻痺などいろいろあります。幸にして乳児検診、その他時期に応じた検診が、役場や保健所などで行われていま

こんにちは
保健師です

万歩計を低価であっせん!!

健康づくりのために
大いに歩きましょう

可愛い赤ちゃんに何か異常 適切な指示を受けることが大
を気づかれたら努めて受診し 切です。

急速に進みつつある高齢化社会の中で、高血圧、心臓病などの成人病があな
たをねらっています。

こうした成人病からあなたを守るには、何と言っても、ふだん良く体を動かすこと、運動をすることが大切な条件。
良く歩くことは
他のスポーツと消費カロリーをくらべても立派な運動の一つと言えます。

こうしたことから、町では町民の皆さんに万歩計のあっせんを行います。

ご自分で万歩計を使ってどれ位歩いているのか確かめて見ませんか!!

健康カレンダーに記載の町内の史跡めぐりなどもご家族で挑戦なされば一石二鳥の効果

●定価二、二〇〇円↓あつせん価格一、〇〇〇円
●お申し込みは各地区の食生活改善推進員さんに一、〇〇〇円を添え、八月末までお願いいたします。

●お申し込みは各地区の食生活改善推進員さんに一、〇〇〇円を添え、八月末までお願いいたします。



・歩くことにより筋肉の収縮や弛緩が刺激となって脳に働く。
・意欲的になる。

強化され血液が十分に循環するようになる。
肺機能が十分に循環するようになる。

・心臓が強くなる。

・足や腰が強くなる。
・姿勢や動作が美しいものになる。

ひろば

の方は役場
お知らせください。



脱臭設備など完成

—東彼福祉組合—

東彼地区保健福祉組合では、郡内のごみ処理、し尿処理などの業務を行っていますが、このほど、脱臭設備、貯溜槽を新設、投入室などを改築しました。

これは、し尿処理施設整備事業と金資をみなさんが加入する国民年金や厚生年金の積立金から、還元を受けて建設されたものです。

総工費 約3,400万円。

地域雇用開発

助成金制度

スタート

さきの第一〇八国会において円高による不況が深刻化している雇用問題に対処するため、地域雇用開発等促進法が成立、施行されました。

これは指定された地域において、事業所を新設、または増設した事業所に対して、採用した従業員数に応じ助成金を支給し、雇用開発を図ろうとするものです。

新聞等でご承知のとおり、長崎県は全域が雇用促進地域に指定されています。

新設の助成金のあらまはは次のとおりです。

◇ 受給できる事業主
助成金を受給できる事業主

は次の①及び②に該当する事業主です。

① 雇用開発促進地域で事業所の施設や設備を新設、増設、購入、賃借して、新たに事業を始め、または拡大すること（費用の合計額が五〇〇万円以上のものに限る）

② ①に伴い、その地域に居住する求職者を公共職業安定所の紹介により常用労働者として雇い入れること。

◇ 助成金の内容
（地域雇用奨励金）

設置、整備した事業所の操業開始日から一年間雇い入れた労働者に支払った賃金の三分の二が助成されます。

（地域雇用特別奨励金）

雇い入れた労働者が五人以上（小規模企業は三人以上の場合）、その人数と費用の額に応じて別表の助成金が、設置、整備直後に一回、その後一年ごとの計三回支給されます。

ただし、当該事業所の総労働者数が、減少した場合等には、その後は支給されません。（注）雇い入れに係る費用とは、事業所の施設や設備を新設、増設、購入、賃借するの

に要した費用をいいます。

◇ 昭和六十二年度の取扱
① 昭和六十二年四月一日以降の事業所の設置、整備に伴う雇入れが助成の対象となります。

② 助成を受けるには、雇入れ計画書、受給資格決定、支給申請等の手続きが必要とな

り、手続きの受付は六月から行われています。

詳しいことは、大村公共職業安定所へおたずねください。（TEL〇九五七—五二—二一〇一）

（別表）

（支給額）1回につき次の額が支給されます。

人数 雇入れに係る費用	5(3) ~ 9人	10~19人	20人~
	円		
円以上 500万	50万	75万	100万
1,000万	100万	150万	200万
2,000万	200万	300万	400万
5,000万	500万	750万	1,000万

取り壊した 家屋は届出を

固定資産税の賦課期日は、毎年一月一日と定められていますが、家屋に課税する固定資産税は、賦課期日の家屋の現況（建築されているか、取り壊されているか）により新年度の固定資産税が決定されることとなります。

六十二年一月二日以降に家屋を取り壊した方は、役場税務課固定資産税係まで届出てください。

また、建築されても、役場から調査に伺っていない方もご連絡ください。

電気が消えたら

まずブレーカーやリミッター（電流制限器）が切れていないか調べてください。

ブレーカーやリミッターが切れていたらご使用中の器具の一部が、故障と思われる器具をコンセントからはずし、切れたブレーカーやリミッターのツマミを「入」にしてください。

それでも点灯しない場合は、

漏電しや断器を調べてください。

漏電しや断器が切れていたら再度ツマミを「入」にしてみてください。それでも切れる場合は、漏電の可能性がある機器（洗たく機、クーラー、井戸ポンプなど）をコンセントからはずしツマミを「入」にしてみてください。

以上の操作をしても電気がつかない、もしくはブレーカー・リミッター！漏電しや断器が切れていないのに電気がつかないときは、最寄りの九州電力営業所へご連絡ください。

お知らせ

掲載ご希望
企画係まで

町職員人事異動

町職員の人事異動が七月一日付で次のとおり発令されました。(一)書きは前

〈退職〉六月三十日付

松尾ミチ子(税務課参事補)

〈異動〉七月一日付

税務課主査(保健衛生課)

岸川信幸、保健衛生課主事、住

民福祉課主事、朝長義之、住

民福祉課主事(農林課主事)

太田和広

「社会を明るくする運動」展開中!

第37回

本年も「社会を明るくする運動」が法務省の主唱により七月一日から三十一日までの一か月間展開されています。「地域活動の推進による青少年の非行防止と更生の援助を」が今回の重点目標。

この運動は、すべての国民が犯罪の防止と不幸にして罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

近頃では、青少年の犯罪は覚醒剤、シンナー、薬物濫用、家庭内、学校内暴力、陰湿な...

このような事態は、家庭、学校、職場及び地域社会における希薄な人間関係にも起因するものと思われまます。

私たちは、これからの社会を背負って立つ世代の人々が心身共に健全に成長していくことを願い、犯罪防止のため「社会を明るくする運動」を積極的に展開しなければなりません。皆様の協力をお願いします。

波佐見町保護司会
更生保護婦人会



消防官

—東京消防庁—

採用予定人員110名
受験資格1955年4月2日
から45年4月1日ま
でに生まれた男子(た
だ大卒は除く)

受験手続は受験申込書を郵送
希望の場合は、封筒の表
に「消防官(Ⅲ類)採用
試験受験申込書請求」と
朱記し、百七十円切手を
貼った宛先明記の大型の
返信封筒を同封のうえ、
東京消防庁人事部採用係
へ請求してください。

申込方法、郵送申込は九月一
日から九月八日まで
宛先〒100・東京都千
代田区大手町一三三・東
京消防庁人事部人事課採用係
一次試験10月2日(長崎な
ど全国十四か所)
詳しくは、東京消防庁(☎
03-2212-2111)採
用係・内線四四三五)へおた
ずねください。

「贈ることば」 作文コンクール

▽対象は、県下の小・中・高等
学校及び、盲・ろう・養
護学校の児童生徒と県民
一般

▽内容：親と子、教師と児童
生徒、友人同士など様々
な人間関係の中で、感動
した体験、贈り伝えたい
ことなど、題は自由。

▽送先：公立小中学校は各
教育事務所へ、その他は
県教育庁総務課企画広報
班あて(〒850 長崎
市江戸町二一三)

詳しくは、県教育庁企画広
報班(☎0958-241-
111番)へおたずねくださ
い。

▽応募方法：一人一作
○小学生は四百字詰原稿用
紙二枚、その他は三
枚四枚とし、住所・氏名
年齢(学校名・学年)を
明記する。児童生徒は校
内選考で一枚五枚。

▽切：九月三十日(水)ま
で

年金は請求しないと 受けられません

「自分は年金を受ける資格
期間を満たしているし、65歳
にもなったから年金がくるだ
ろう」と思っている人はいま
せんか。

年金は待っていても、くる
ものではありません。すべての
年金は受ける資格があっても
本人の請求がなければ支給
されませんので、忘れずに請
求することが必要です。

年金に関するお問い合わせ
は、役場年金係へお願いしま
す。

Smokin' Clean

いっぶくの
味さわやかな
あと始末

守ってますか喫煙マナー

消費者生活 地域相談員に山下倉蔵さん(稗木場)



町の「消費生活地域相談

員」に稗木場郷の山下倉蔵さん(六九)が六月十一日付で選任されました。

この相談制度は、近年増えてきている悪質な訪問販売をはじめ、さまざまな消費者問題に対処するため、みな

さんからの苦情相談の窓口として設置されたものです。消費者行政に協力していただく、いわゆるボランティア相談制度で任期は三年となっております。

相談は無料で秘密取り扱います。お気軽にご相談ください。連絡先 八五二二(山下さん宅)

善意の窓

○香典返しにかえて

- 金屋郷 馬場 道昭様
- 御母堂故馬場カル様
- 皿山郷 浜田 英陽様
- 御令讓故浜田朋美様
- 川内郷 奎尾 忠治様
- 御母堂故奎尾スエ様
- 川内郷 井手 辰馬様
- 御夫人故井手良子様
- 田頭郷 堺 セイ子様
- 御主人故堺博幸様

- 湯無田郷 柿本千枝子様
- 御主人故柿本久雄様
- 湯無田郷 瀬川 武義様
- 御尊父故瀬川義夫様
- お見舞返しにかえて
- 川内郷 谷村 富次様
- 井石郷 馬場 福芳様
- 以上の方々から本町社会福祉事業資金に寄付していただきました。
- それぞれの寄付に対し厚くお礼申し上げます。
- 波佐見町社会福祉協議会

お誕生おめでとう

子の名 親の名 住所

- 柿本 夏美 廣海 野々川郷
- 中野 浩南 彰 湯無田郷
- 村川 和輝 博久 井石郷
- 岩永 知将 修 井石郷
- 島田 愛佳 一郎 井石郷
- 高木 郁見 茂 金屋郷
- 野原 美里 徹 折敷瀬郷

ご結婚おめでとう

水田 宏記 三股郷

- 大川 広美 東彼杵町
- 池田 健一 川棚町
- 中尾 公子 三股郷
- 田寄 嘉彦 永尾郷
- 中野 昭子 武雄市
- 野口 透 山内町
- 池田 初子 永尾郷

おこやみ申し上げます

- 松尾 定秋 有田町
- 川尻 仁美 永尾郷
- 馬場 和義 湯無田郷
- 山下千恵子 稗木場郷
- 新宅 安雄 川棚町
- 川添 悦子 湯無田郷
- 松岡 憲了 金屋郷
- 中村 仁美 長崎市
- 松下 千博 折敷瀬郷
- 金子歌代子 武雄市
- 吉福 勇三 折敷瀬郷
- 川口佐知子 川棚町
- 浦田 圭史 大分市
- 内海恵美子 宿郷

- 柿本 久雄 湯無田郷 58歳
- 中島 タツ 折敷瀬郷 68歳
- 中尾 マシ 村木郷 76歳
- 山口 義喜 村木郷 54歳
- 小柳 勇藏 皿山郷 64歳
- 古田 竹一 稗木場郷 80歳
- 中尾 ジツ 稗木場郷 93歳
- 清水 ハイ 稗木場郷 81歳
- 峯 文一 田ノ頭郷 66歳
- 松川 イセ 川内郷 81歳
- 山田 藤三 志折郷 85歳



町児童文化基金

寄付お礼

波佐見町児童文化基金に次の方々から多額の寄付をいただきました。心から厚くお礼申しあげます。

- (有)波佐見電設様
- モダンジャズクラブ様
- 渡辺 満様

こころの編集室



いよいよ夏本番——酷暑で身体も消耗しがち。張り切り過ぎて、あとでバテてはなんにもなりません。うまく休養をとるのも、仕事のうちです。

▼先月号の「みんなのひろば」で紹介した、陶芸の館のアオバズク二羽。幼鳥ではなく成長の雌雄とか、一時姿を見せなかったものの、居ごこちが良かったのか、再び居そうろう。

野鳥愛好家らの手で取り付けられた臨時の巣箱(波佐見焼ダンボール)の中で、只今玉子をあたためているそうです。

元氣な二世誕生を期待したいと思います。